

樹林が縞状に枯れる珍しい山

しまがれやま 八ヶ岳縞枯山希少個体群保護林

設定目的

「縞枯」と呼ばれる、樹木が集団で帯状に枯れていく珍しい現象が見られる縞枯山(二、四〇三㍎)に設定されています。この縞枯山のシラビソを主体とし、コマツガ、トウヒ等の混交する天然林個体群の保護・管理をしています。

縞枯現象についての調査研究は多数行われており、発生の原因にはいくつもの要因がありますが、斜面を一定方向に吹き抜ける風(卓越風)による影響が一番の原因とされています。

地況・林況

八ヶ岳連峰の北部に位置し、北に横岳、南は茶白山に連なり、火山活動の噴出物で形成された山です。縞枯は二、二〇〇㍎付近から山頂まで現れます。

所在地
長野県茅野市



国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年(大正4年)以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。